

提言 1

未来を見つめ安心して豊かに暮らせるまちづくり

提案（提言）の具体的な内容

- ① **農家の知恵を活用し、農地を有効活用する**
 - ・ 市民参加の朝市
 - ・ 市民マイスター制度
 - ・ 市民農園の活用
- ② **ワンストップで全てが済むショッピングモールの構築**
 - ・ 医療・教育・行政が1か所に集合している場所作り
 - ・ アクセスする交通網の整備（自動運転車の導入）
- ③ **コミュニケーションの多様化**
 - ・ AI、IOT、ICTの活用
 - ・ ユビキタス社会を実現する
 - ・ いつでも、だれでも、どこでも、なんでも（サテライトオフィス等）
- ④ **生涯学習プログラムの充実**
 - ・ 日高市の自然を生かした教育（教育と保育）
 - ・ リタイヤした人たちの知恵を活用
 - ・ 全ての市民が生涯に渡って学ぶ意欲が満たされる仕組み

提言 2

やさしい自然を育む街（町）

提案（提言）の具体的な内容

①

巾着田の整備（プロジェクト化する）

- 手つかずの自然⇔集客のための整備（物産店）
- 観光⇔憩いの場 ・ 牧場の活用 ・ 増水時の危険（情報提供）
- 駐車場の利用（市民・市外の差別化 日をまたぐ長時間利用の金額増）
- 市内循環バス

②

農業、林業の整備、利用

- 休耕地の利用（利用に対する柔軟性）
- 間伐材の利用⇒高麗の郷等 ボランティアを利用
- 除草剤の自粛

③

地域の整備（安全と安心）

- 街灯の設置
- 街路樹の植栽の手入れ⇒ボランティア、シルバー人材の協力
- 市内循環バス（①、②、③共通）

④

提言 3

子育て

提案（提言）の具体的な内容

- ① ママの声
- ・意見箱の設置
 - ・幅広い年齢層での交流

- ② 学校・保育所の利用
- ・空き教室、園庭開放 ・企業への貸出
 - ・見守り隊（PTAの協力） ・スポーツ少年団
 - ・日高市産の食材利用

- ③ 公園
- ・時計、ベンチ、テーブル、水飲み場の設置
 - ・巾着田の中心に施設

④

提言 2

安全 ⇔ 安心の日高

提案（提言）の具体的な内容

- ① 日高の安全は「道路整備（緑道、歩道）」から!!
- 安全の確保のため、最優先で道路を整備。
→バス交通の環境が整い、安心して誰もが歩いたり、自転車に乗ることが出来る。

- ② 公共交通機関を使うための工夫!!
- 電動レンタサイクル、地域循環バスの設置
 - ①の整備で歩行者、自転車利用者が増える
→結果、公共交通機関のニーズが高まる→行政が動く

- ③ 公園を整備することで安心できる日高になる!!
- 子どもも大人も安心して住める環境が整う
 - 公園には水飲み場、トイレ、休憩ベンチを必ず設置
 - 公園設備は常にキレイにしておく

- ④ 地域活性化まで視野に入れた空家の有効利用
- 既存の仕組みを活用（空家見守り隊）
 - 危険→安全→安心→活性（発展）

提言 3

助け合い日高、みんな家族

提案（提言）の具体的な内容

☆助け合う環境を作ろう!!

- ①
 - ・各駅前にコミュニティスペース設置
 - ・日高寺小屋（大学生が小中学生に勉強を教える場）
 - ・公民館のフリースペース化（コミュニティの場）
 - ・映画館・ゲームセンター等の既存施設利用

☆地元を知ろう!!

- ②
 - ・森の育成、炭焼、畑、稲作の体験学習
 - ・歴史的古道を知る（鎌倉街道、飯能道）→復元も!!
 - ・消滅した伝統の再現活動（双盤念仏、古道、まんじゅう作り）

☆お互いを知ろう!!

- ③
 - ・空家をサークル会場にして犬猫の遊び場に!!
 - ・自宅で仲間同士のミニカフェ（グループ交流）
 - ・空き教室で社会学習（竹馬、パッチ、オハジキ、雑巾ぬい）
 - ・マイカーシェアでお互い様の助け合い

市のことも知ろう!!

- ④
 - ・市役所のホームページを見よう!!使おう!!
 - ・市の取組み、施策も見れるよ!!
（その代わりに）市も全戸訪問の実施（共感目線で）

提案 3

誰もが健康で楽しく過ごせるまちへ

提案（提言）の具体的な内容

- ① 高齢者世帯の見守り支援の充実
- ・ 独居老人の把握と見守りの充実
 - ・ 一人暮らしの方の健康を守るシステムの確立

- ② 医療の公的補助の充実
- ・ 健診の充実
 - ・ 公的医療費の補助
 - ・ 介護タクシーの充実
 - ・ 市独自の制度の充実

- ③ 病院の受入体制の充実
- ・ 救急搬送の短縮
 - ・ 優先的に、病院に入れるような連携

- ④ 未病対策の確立と充実
- ・ ラジオ体操で、認知症と体力低下予防
 - ・ 健康増進教室の充実
 - ・ 体を動かせる公園などの充実

- ⑤ 相談所の充実
- ・ 健康について無料で相談できる場所が必要

提案 4

垣根の無い社会の創造

提案（提言）の具体的な内容

- ① **支援制度の確立**
 - ・ 特別支援学校を卒業した人の受入先の充実
 - ・ 実はすごい才能を持っている
 - ・ 障がいを抱えた家族に対して適切にアドバイスができる人材育成
- ② **バリアフリーに向けた環境整備**
 - ・ 障がい者（車イス）の道路（バリアフリー）
 - ・ 学校のバリアフリー（公・教育）
 - ・ 障がいの子どもたちを受け入れてくれる幼稚園や保育園があるといい 公立の幼稚園を希望
- ③ **地域の特別支援者への理解**
 - ・ コミュニケーションツールの確立と教育の充実
 - ・ 近隣への周知
 - ・ 地域ボランティアの確立と連動
 - ・ 一声の努力の場を作る
 - ・ 相互理解の構築
 - ・ 親の会の充実
- ④ **いじめ対策**
 - ・ いじめの実態把握
 - ・ 学校の内いじめの現実、学校の対策
- ⑤ **行政（公）主導の連携システムの構築**
 - ・ 情報開示（プライバシーを含む）の必要性
 - ・ 情報システムの確立（プライバシーを含む）
 - ・ 精神的物理的助け合い
 - ・ 支援学校と連動
 - ・ 市民、市役所、病院、警察との連絡網
 - ・ 病院との連動
 - ・ 自治会の理解と支援の確立

提言 3

将来を担う人づくり

提案（提言）の具体的な内容

- ① 小中一貫で、日高に6つめの万華鏡のような個性
 - ・ 地域の人材を原動力に
 - ・ 校区や授業や部活を選べるオープン化
 - ・ プールと図書館は共有
 - ・ 通学、移動はコミュニティバス
- ② 地域の人々（大人も子どもも）集まって学べる場づくり
- ③ 市民の手で大学をつくろう
 - ・ ライブリーカレッジを市民教授の大学へ
 - ・ 眠っている図書の本集
- ④ 命に関わる緊々の課題解決に重点的に取り組む
 - ・ 児童虐待、いじめ、不登校、食の貧困

提言 4

センター + 6サブタウンのまちづくりの骨格

提案（提言）の具体的な内容

6サブタウン 歩ける範囲に、人が自然と集まる場

- 日常の買い物、医療、金融サービス、学校、集まる場（ひろば コミュニティタウン）
- 協議会

①

※それらを相互に結ぶ公共交通機関

